

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

藤本食品株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市沼田東町兩名972番地1

(3) 業種

0997 すし・弁当・調理パン製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成29年度から令和3年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成26年度	平成33年度	平成29年度	平成30年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	
エネルギー 起源CO2	5,763	5,360 (7.0)	5,563 3.5	4,651 19.3	100.0	100.0	100.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 実排出量総計	5,763	5,360 (7.0)	5,563 3.5	4,651 19.3	100.0	100.0	100.0	
温室効果ガス みなし排出量								
実績に対する 自己評価	30年7月豪雨災害により工場稼働停止期間があった 30年10月から供給電力会社を変更							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： **製品数量(万个)**

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))					
	平成26年度	平成33年度	平成29年度	平成30年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度	
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	0.9325	0.8670 -7.0	1.0398 -11.5	0.9320 0.1	100.0	100.0	100.0	
実績に対する 自己評価								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量4%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧式大型冷凍機2台をインバーター制御小型5台制御に変更</li> <li>・給排気ファンのオーバーホール</li> <li>・散水装置の改良</li> </ul>
2	ガス使用量の削減	使用量2%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機時間の削減</li> <li>・蒸気配管保温箇所の追加</li> <li>・ボイラー設定の変更</li> </ul>
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	廃棄物排出量の削減	5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>分別収集の徹底</li> <li>汚泥含水率の削減</li> <li>ペーパーレス化</li> </ul>
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。